

	国立市	国分寺市	立川市
人口(人)	73 524	117 991	173 248
合議体数(人口比)	3(24,508)	3(39,330)	3(57,749)
1合議体人数(人)	5	5～6	6(毎回5で1人は休)
障害種別合議体有無		不明	無
認定調査行政・委託・嘱	嘱託	不明	行政
開始時期(月)	6	6	5
当事者委員有無	有	有	無
医師	3	4	6(内精神科3)
看護・保健師	1		有
薬剤師			
OT		3	
PT	2		
心理			
ST			
ワーカー(身・知・精)		3	
施設職員(身・知・精)	6(地域5 入所1)		ほとんど
家族			有
学識経験者(大学職員)	1	3	
その他			
委員名簿の公開有無			
委員の人選方法			個別に依頼され。
1回の検討数と時間			2時間で20例
開催頻度			毎週1合議体開催
精神障害での変更例	有	有	有
アップ例			45 / 106
ダウン例			
コメント	未だ件数が極めて少なく言及できない。	まだ合議体の審査が一巡しかしておらず、それぞれが2～3例なのではっきりしたことはわからない。一次判定の変更は1例のみ。(精神: 区分2 3)	精神障害は区分1か2。「一次判定より重い」と全員が思った場合は論議しない。1アップ43例、2アップ(区分1 3, 3 5)
審査委員に対する自治体の指示	守秘義務	注意事項ではないが、概況調査をなかなか開示しなかった。また、開示したのも、プライバシー情報以外のサービス利用状況や手帳区分等ほとんど白塗りになっていた。	現在のサービス量を前提にしない。二次判定の結果がすべてではない、本人と市のやりとりで最終的に決める。
認定調査時の利用者とのトラブル(審査会で報告されたもの)		特に聞いていない	特に聞いていない
問題と感ずること			

		東大和市	町田市
人口(人)		80 212	411 397
合議体数(人口比)		2(40,106)	5(82,280)
1合議体人数(人)		6	5
障害種別合議体有無		無	
認定調査行政・委託・嘱		無	行政
開始時期(月)		6	5～6
審査委員内訳	当事者委員有無	有(1身)	無
	医師	6(内歯科2)	10
	看護・保健師		
	薬剤師		
	OT		
	PT		
	心理		
	ST		
	ワーカー(身・知・精)		
	施設職員(身・知・精)	6(2身2知2精)	10
	家族		
	学識経験者(大学職員)		5
	その他		
	委員名簿の公開有無		
一次判定の変更	委員の人選方法		作業所連絡会への依頼で3名派遣など
	1回の検討数と時間		時間決めず30例
	開催頻度		各合議体が月2回
一次判定の変更	精神障害での変更例	無	有
	アップ例		7～8割
	ダウン例		
	コメント	自分が参加している合議体では、20例中変更が1例のみ。	・精神・知的で区分5以下のケースは1～3段階アップ ・1段階アップ6～7割、2段階3～4割、3段階たまに ・非該当 区分1(特記「20年間一度も就労せず作業所を転々としている」、区分1 3(医師意見書「てんかん発作」記載)な
審査委員に対する自治体の指示	特にないと思う	・マニュアルに添って行う。 ・医師意見書の曖昧な「要支援」記載は採用できない。具体的場面での要支援度記載が必要。 ・区分変更の根拠をきちんと討議する。 ・介護の視点からの判定をするので、障害の重さとイコールではない。	
認定調査時の利用者とのトラブル(審査会で報告されたもの)	なし	なし	
問題と感ずること	認定調査員の記録が人によってバラツキがあり、対応に関しても問題がありそう		

	三鷹市	武蔵村山市	新宿区
人口(人)	178 736	67 754	305 282
合議体数(人口比)	2(89,368)	3(22,585)	2(152,641)
1合議体人数(人)	6と7	5	6
障害種別合議体有無		有	
認定調査行政・委託・嘱	調査員6名中嘱託2名	嘱託	行政(委託検討中)
開始時期(月)	6	5	5
当事者委員有無	有	無	無
医師	4(精神科2/整形外科2)	3	6(精神4/内科1/整形1)
看護・保健師	1	3	1
薬剤師			
OT	1		1
PT	1		1
心理			
ST			
ワーカー(身・知・精)	1	3(2身1知)	
施設職員(身・知・精)	2	5(1身2知2精)	
家族		1	
学識経験者(大学職員)	2		3
その他	1(ヘルパー)		
委員名簿の公開有無	有		
委員の人選方法			
1回の検討数と時間			
開催頻度			
精神障害での変更例	有	有	有
アップ例		15 / 15	
ダウン例		0	
コメント	変更例はかなりあるが、把握できていない。	1アップ8例・2アップ6例・3アップ1例(区分25)。一次判定そのものをその場で修正する事例もあり。	件数、程度は不明だが、「上がることはあっても下がることはない」
審査委員に対する自治体の指示	「都の研修内容に準じること」くらいで特にない。	国からの通知文に従っておこなう。マニュアルの変更事例をよく参考のうえ検討。樹形図による時間を判断材料にしてほしい。	マニュアルに準ずる。
認定調査時の利用者とのトラブル(審査会で報告されたもの)	主治医の意見書を求めることを拒否する利用者がいる。	特にない	不明
問題と感ずること			

	世田谷区	大田区	関東地方匿名自治体
人口(人)	848 360	675 510	
合議体数(人口比)	16(53,023)	4(168,878)	4
1合議体人数(人)	4	5	5
障害種別合議体有無	有(精神8部会)		
認定調査行政・委託・嘱	無	不明	
開始時期(月)	5	5	
当事者委員有無	無	無	有(身1)
医師	26	4	4
看護・保健師		2	3
薬剤師	3		
OT		1	1
PT		2	1
心理			1
ST			1
ワーカー(身・知・精)		2(社会福祉士	5
施設職員(身・知・精)	10	7(4知3精)	
家族			1(育成会)
学識経験者(大学職員	25	1	2
その他		1	介護保険との兼務が多い
委員名簿の公開有無		無	
委員の人選方法	医師会・歯科医師会・薬剤師会へ依頼など		
1回の検討数と時間			
開催頻度			
精神障害での変更例	有	有	無
アップ例			
ダウン例			
コメント		1ランクアップすることもあるが、全部ではない。	
審査委員に対する自治体の指示	マニュアルに準ずる	5/30付厚労省事務連絡「障害程度区分にかかる市町村審査会での審査判定について」が配布され、マニュアルに基づいてのみ判定することの再確認があった。	特になし
認定調査時の利用者とのトラブル(審査会で報告されたもの)		審査会で報告されたものはない。	なし
問題と感ずること			診断書の書き方がバラバラで困っている